



平成27年5月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年1月9日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社ウイズ  
 コード番号 7835 URL <http://www.wizinc.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 経営企画部長  
 四半期報告書提出予定日 平成27年1月13日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 横井昭裕  
 (氏名) 大関浩一

TEL 03-3534-3180

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年5月期第2四半期の連結業績(平成26年6月1日～平成26年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年5月期第2四半期	785	22.3	△90	—	△96	—	△97	—
26年5月期第2四半期	642	△34.0	△191	—	△188	—	△188	—

(注) 包括利益 27年5月期第2四半期 △99百万円 (—%) 26年5月期第2四半期 △186百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年5月期第2四半期	△31.76	—
26年5月期第2四半期	△61.10	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円 銭
27年5月期第2四半期	1,866	911	911	1,010	48.8	295.77
26年5月期	2,072	1,010	1,010	1,010	48.8	327.99

(参考) 自己資本 27年5月期第2四半期 911百万円 26年5月期 1,010百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年5月期	—	0.00	—	0.00	0.00
27年5月期	—	0.00	—	—	—
27年5月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年5月期の連結業績予想(平成26年6月1日～平成27年5月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,200	134.7	15	—	15	—	12	—	3.89

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年5月期2Q	3,081,600 株	26年5月期	3,081,600 株
② 期末自己株式数	27年5月期2Q	— 株	26年5月期	— 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年5月期2Q	3,081,600 株	26年5月期2Q	3,081,600 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、消費税率の引き上げに伴う駆け込み需要の反動が一部に残るものの、企業業績及び雇用状況等は改善傾向に推移し、緩やかな景気回復の状況にありました。

このような状況のもと、玩具市場は、一部の人気キャラクター関連商品が大ヒットし、それに伴い業界全体としては堅調に推移しております。

当社グループにおいては、ここ数年の業績低迷を打破すべく、前連結会計年度に引き続き、当連結会計年度も固定費の削減に努め、基幹事業であるOEM製品販売に加え、オリジナル商品販売事業の成長拡大のために経営資源を集中し、通期の黒字化を達成するとともに、将来に向けた事業組織の基盤の再構築をおこなっております。

当第2四半期連結累計期間は、OEM製品販売は、株式会社バンダイより新シリーズ「TAMAGOTCHI 4U」の販売を平成26年9月27日より開始し、当該期間内においては計画を若干上回る納品を完了しました。当該期間内では、その他のOEM製品販売は納品予定が当初より少ないもののOEM製品全体としては計画を上回る状況となっております。

また、オリジナル商品販売は前連結会計年度に発売した「つまんdeペンチ」及び新商品「Yuki Yuki (ゆきゆき)」の販売が当初は堅調に推移しましたが、オリジナル商品販売全体では、当第2四半期連結累計期間の販売計画を下回る結果となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は、7億85百万円（前年同期比22.3%増）となりました。

利益面においては、営業損失は90百万円（前年同期は1億91百万円の営業損失）、経常損失は96百万円（前年同期は1億88百万円の経常損失）、四半期純損失は97百万円（前年同期は1億88百万円の四半期純損失）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### ＜資産、負債及び純資産の状況＞

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比べ2億5百万円減少し、18億66百万円となりました。これは、主に原材料及び貯蔵品が1億70百万円、受取手形及び売掛金が1億40百万円増加した反面、現金及び預金が5億5百万円減少したことによるものであります。

負債は、1億5百万円減少し、9億55百万円となりました。これは主に支払手形及び買掛金が56百万円増加した反面、長期借入金（1年以内返済予定を含む）が1億70百万円減少したことによるものであります。

純資産は、99百万円減少し、9億11百万円になりました。これは主に当第2四半期連結累計期間の四半期純損失計上による利益剰余金の減少97百万円によるものであります。

#### ＜キャッシュ・フローの状況＞

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は、前連結会計年度末と比べ4億55百万円減少し、6億65百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

#### （営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果使用した資金は3億33百万円となりました（前年同期は31百万円の使用）。これは仕入債務の増加額が56百万円となる等、資金の増加要因はありましたが、たな卸資産の増加額が1億78百万円、売上債権の増加額が1億40百万円、税金等調整前四半期純損失が96百万円であったことなどによるものです。

#### （投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果獲得した資金は48百万円となりました（前年同期は4百万円の獲得）。これは定期預金の払戻による収入が50百万円であったことなどによるものです。

#### （財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は1億70百万円となりました（前年同期は3億44百万円の獲得）。これは長期借入金の返済による支出が1億70百万円であったことなどによるものです。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年5月期における通期連結業績は、現時点ではほぼ計画どおりに推移しており、平成26年7月3日に発表いたしました数値から変更はありません。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

### （1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### （2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

#### 税金費用の計算

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

### （3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

## 3. 継続企業の前提に関する重要事象等

当社グループは、前連結会計年度においては当期純損失4億25百万円を計上し、当第2四半期連結累計期間においても営業損失90百万円、経常損失96百万円、四半期純損失97百万円を計上しております。また、営業活動によるキャッシュ・フローも、前連結会計年度及び当第2四半期連結累計期間においてもマイナスとなっている状況であります。これらの状況により、当社には継続企業の前提に関する重要事象等が存在しており、当社グループは当該状況を解消すべく、次のような取り組みを実施しております。

#### ① 売上高の拡大

#### ② 固定費の削減

#### ③ 資金繰りへの対応

上記のうち「① 売上高の拡大」につきましては、OEM製品販売において、顧客企業との連携を密にし、「たまごっち」「プリキュア」等の主力シリーズの新製品開発に注力し、一定額の売上高及び売上総利益を確保することに努めてまいります。また、今後は、シニア層も意識した幅広い年齢層をターゲットにしたオリジナル商品の開発及び販売を売上拡大の柱にし、そのための新規販売ルートの確立に努め、体制及び人材の強化を図ってまいります。これからもそれら施策を含め、売上高の増加に継続的に取り組んでまいります。

「② 固定費の削減」につきましては、引き続き固定費の支出を抑えるとともに売上総利益の向上のための取り組みに努めてまいります。

「③ 資金繰りへの対応」につきましては、現在の事業方針から、投資及び出資等の多額の支出を伴う資金需要が発生しないため、現状の現金及び現金同等物の残高にて、当面の間の運転資金及び借入金の返済等が十分に賄える予定であります。資金調達が必要な場合につきましても、金融機関を中心とした手当により当面問題はないと認識しております。

以上により、また、当第2四半期連結累計期間における業績についても概ね予想どおりに推移しているため、当社グループは、継続企業の前提に関する重要な不確実性は認められないと判断しております。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年5月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年11月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,171,614	665,912
受取手形及び売掛金	80,473	220,793
商品及び製品	35,253	51,626
仕掛品	31,293	22,802
原材料及び貯蔵品	38,390	209,337
その他	70,874	55,231
流動資産合計	1,427,900	1,225,703
固定資産		
有形固定資産	33,519	29,897
無形固定資産	1,875	1,613
投資その他の資産		
投資有価証券	519,161	519,379
その他	89,619	90,200
投資その他の資産合計	608,780	609,580
固定資産合計	644,175	641,090
資産合計	2,072,076	1,866,794
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	25,959	82,482
短期借入金	100,000	100,000
1年内返済予定の長期借入金	322,820	254,420
その他	73,231	77,465
流動負債合計	522,011	514,367
固定負債		
長期末払金	265,526	265,526
長期借入金	216,255	114,615
退職給付に係る負債	57,013	60,440
その他	520	388
固定負債合計	539,316	440,971
負債合計	1,061,327	955,338
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	555,235	555,235
資本剰余金	587,435	587,435
利益剰余金	△131,104	△228,963
株主資本合計	1,011,565	913,706
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	492	701
為替換算調整勘定	△1,308	△2,952
その他の包括利益累計額合計	△816	△2,251
純資産合計	1,010,748	911,455
負債純資産合計	2,072,076	1,866,794

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年6月1日 至平成25年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年6月1日 至平成26年11月30日)
売上高	642,485	785,551
売上原価	461,341	506,780
売上総利益	181,143	278,771
販売費及び一般管理費	372,860	368,969
営業損失(△)	△191,717	△90,197
営業外収益		
受取利息	132	125
受取配当金	505	425
為替差益	6,476	949
持分法による投資利益	222	—
その他	—	206
営業外収益合計	7,337	1,705
営業外費用		
支払利息	3,615	4,402
持分法による投資損失	—	106
債権売却損	—	494
支払手数料	—	3,000
その他	26	2
営業外費用合計	3,642	8,005
経常損失(△)	△188,022	△96,497
特別損失		
固定資産除却損	26	11
特別損失合計	26	11
税金等調整前四半期純損失(△)	△188,049	△96,508
法人税等	227	1,350
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△188,276	△97,858
四半期純損失(△)	△188,276	△97,858

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年6月1日 至平成25年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年6月1日 至平成26年11月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△188,276	△97,858
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	186	209
為替換算調整勘定	1,736	△1,643
その他の包括利益合計	1,923	△1,434
四半期包括利益	△186,353	△99,293
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△186,353	△99,293



(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年6月1日 至 平成25年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年6月1日 至 平成26年11月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純損失(△)	△188,049	△96,508
減価償却費	6,032	4,485
組合等受入損益(△は益)・純額	△112	11
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△7,856	—
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	—	3,426
受取利息及び受取配当金	△637	△550
支払利息	3,615	4,402
為替差損益(△は益)	△695	△756
持分法による投資損益(△は益)	△222	106
固定資産除売却損益(△は益)	26	11
売上債権の増減額(△は増加)	189,965	△140,319
たな卸資産の増減額(△は増加)	△3,286	△178,829
仕入債務の増減額(△は減少)	△25,002	56,522
その他	3,718	20,120
小計	△22,503	△327,877
利息及び配当金の受取額	637	550
利息の支払額	△3,873	△4,418
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△5,538	△1,350
営業活動によるキャッシュ・フロー	△31,278	△333,095
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の払戻による収入	—	50,000
投資事業組合からの分配による収入	4,898	—
敷金の差入による支出	—	△1,206
投資活動によるキャッシュ・フロー	4,898	48,793
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入れによる収入	450,000	—
長期借入金の返済による支出	△104,795	△170,040
その他	△448	△472
財務活動によるキャッシュ・フロー	344,756	△170,512
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,140	△887
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	319,517	△455,702
現金及び現金同等物の期首残高	996,146	1,121,614
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,315,664	665,912

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

該当事項はありません。